



南牧村花卉生産組合花情報(平成 27 年 12 月)

「なんもくの花」

群馬県の南西部に位置する南牧村では、平均年齢 70 歳以上の 15 名が 50 種類を超える宿根草や花木類などの切り花を栽培し、「なんもくの花」として首都圏へ出荷しています。(写真は一年の最後を飾る南天の出荷風景です)

『月例研修会』

「なんもくの花」農家は皆で集まり、花の話や勉強をすることが大好きです。ほぼ毎月、研修会や視察などで集まる場を設けています。今月の研修会も花の話題で 2 時間半も盛り上がっていました。花への情熱にはいつも驚かされます。

【12 月の月例研修会】→



『一年の終わり』

お正月の縁起物である南天は「なんもくの花」の主要品目であり、一年の最後を締めくくる品目です。出荷ピークの 12 月 20 日以降は南天の箱が出荷場に山積みされることもしばしばあります。今年も「なんもくの花」を応援していただきありがとうございました。



【収穫前の南天】



【箱詰め前に作業場で水揚げ】



【トラックで出荷場へ】